


(1) 枚方市総合文化芸術センターの整備をはじめとする公共建築物の整備・保全

<p>方向性</p>	<p>令和2年度(2020年度)内の完成をめざして枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、公共施設の計画的な整備・保全に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">～枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p> 
<p>取り組み</p>	<p>本市の広域中心拠点である枚方市駅周辺の再整備の起点となる枚方市総合文化芸術センターについては、平成30年度から建設工事に着手しており、令和2年度(2020年度)内の完成をめざします。</p> <p>また、香里ヶ丘図書館の建設工事に着手し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的に整備を進め、令和2年度(2020年度)内のオープンをめざします。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p>
	<p>平成31年度当初予算：2,467,340千円【枚方市総合文化芸術センター整備】 1,538,891千円【公共建築物の整備・保全】</p>


9月末の
進捗状況
【○】

枚方市総合文化芸術センターの建設工事については、基礎掘削工事において地中埋設物が発見され工期を49日間延長しましたが、その後は令和2年度(2020年度)内の完成に向け、順調に工事を進めています。

また、香里ヶ丘図書館の建設工事については、令和2年度(2020年度)内のオープンをめざし、順調に工事を進めています。

市有建築物の維持保全については、当該計画に基づき今年度の予定工事に順次着工するとともに、次年度の工事に向けた設計業務にも着手しています。

(2) 京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業

<p>方向性</p>	<p>令和10年度(2028年度)の完成をめざして京阪本線連続立体交差推進事業に取り組みます。あわせて、光善寺駅周辺については、今年度設立予定の光善寺駅西地区市街地再開発組合とともに新たなまちづくりを進めます。</p> <p style="text-align: right;">～光善寺駅西地区市街地再開発事業のイメージ～</p> 
------------	---

取り組み	<p>鉄道高架工事の早期着手に向け、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めるとともに、今年度においては文化財調査や地下埋設物調査等の準備作業を進めます。また、設立予定の組合に対して、市街地再開発事業の専門的ノウハウを有する事業協力者等と事業の進捗を図るとともに財政的・技術的支援を行います。</p>
	<p>平成 31 年度当初予算：3,617,144 千円【京阪本線連続立体交差事業経費】 158,603 千円【連続立体交差事業関連まちづくり事業経費】</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【〇】</p>	<p>京阪本線連続立体交差事業における今年度の事業用地の取得については、大阪府からの配当額の 60%にあたる約 2,278 m²を取得しています。また、文化財調査や地下埋設物調査等の準備作業を行っています。</p> <p>光善寺駅周辺については、再開発組合に対して大阪府による組合設立（8 月 15 日）の認可に係る技術的支援を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金を活用し市街地再開発事業補助金の交付を決定しました。</p>
-------------------------------	---

(3) 定住促進につながる住宅施策の推進（三世代家族・定住促進事業）	
方向性	<p>市外在住の子育て世帯及び若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居または近居するために住宅を取得またはリフォームすることに対して補助することで、若年世代の転入及び安心して市内定住できる環境整備を図ります。</p>
取り組み	<p>同居または近居するための住宅取得費用や同居のための持ち家のリフォーム費用に対して補助を行います。さらに、今年度中を目標に補助内容の精査や関連する他の補助制度との整合を図り、子育て世代の誘導及び定住促進につながる補助制度のあり方について、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>また、本市と包括連携協定を締結している UR 都市機構が「UR 賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」を昨年 12 月に策定されたこともあり、香里ヶ丘地域における子育て世代を呼び込む取り組みの更なる推進に向けて、引き続き関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>《目標値》 令和元年度（2019年度）目標値（平成28年度設定） 三世代家族・定住促進事業による補助件数（累計）125件 （実績）平成29年度に61件、平成30年度に 56件で計117件 （予定）令和元年度（2019年度）に50件予定</p> <p>平成 31 年度当初予算：15,000 千円【三世代家族・定住促進事業費】</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>三世代家族・定住促進事業の補助件数については、今後予定している12月補正予算要求分も含めて、今年度の目標値を達成する見込みです。また、当該補助制度の見直しに向け、関係課と協議・調整を進めています。</p> <p>香里ヶ丘地域における取り組みについては、子育て世代を呼び込む取り組みの推進に向けて、今後も引き続きUR都市機構と協議・調整を進めます。</p>
------------------------------	--

(4) 空き家・空き地対策推進事業	
方向性	空家等対策計画に基づき、情報提供や相談等の支援による空き家の有効活用の促進を図ります。
取り組み	<p>空き家・空き地の活用については、所有者と市民団体とのマッチング、所有者や利用希望者への情報提供、空き家セミナー及び相談会の開催により支援を行います。加えて、移住・住みかえ支援機構（JTI）が実施している「マイホーム借上げ制度」の周知・普及を行い、高齢者の持ち家を子育て世代等への賃貸に供給することで、市内転入など定住促進を図るとともに、空き家の発生防止に向けた取り組みを進めます。</p> <p>その他、空き家に係る補助制度の新設に向け、他の補助制度との整合を図り、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>《目標値》 専門家団体と連携したセミナー・相談会開催 3回（平成30年度実績2回）</p> <p>平成31年度当初予算：200千円【空き家・空き地対策推進事業費】</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>空き家については専門家団体と連携したセミナー・個別相談会を6月に実施し、11月にも開催する予定です。マイホーム借上げ制度については7月に制度説明会、8月に個別相談会を行いました。</p> <p>また、補助制度については他の補助制度を所管する関係課と協議・調整を行いながら現在検討を進めています。</p>
------------------------------	--

(5) 住宅・建築物耐震化促進事業

方向性	大地震による被害の軽減を図り、市民の生命と財産を守るため、住宅・建築物の耐震化及び危険ブロック塀等の安全対策を促進します。												
取り組み	<p>住宅・建築物については「木造住宅耐震改修補助制度」等を活用し耐震改修の促進を図ります。加えて、危険ブロック塀等については、新たに創設した「危険ブロック塀等除却補助制度」の周知啓発を行い、道路等に面する危険ブロック塀等の除却を促進します。</p> <p>また、これまでに実施した耐震化啓発の取り組み実績を検証し、計画的かつ効果的な取り組みを進めます。</p> <p>≪目標値≫</p> <table border="0"> <tr> <td>木造住宅耐震診断補助件数</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>大規模建築物等耐震診断補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修設計補助件数</td> <td>50 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修工事補助件数</td> <td>60 件</td> </tr> <tr> <td>住宅除却工事補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>危険ブロック塀等除却補助件数</td> <td>51 件</td> </tr> </table> <p>平成 31 年度当初予算：69,718 千円【住宅・建築物耐震化促進事業経費】</p>	木造住宅耐震診断補助件数	100 件	大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件	木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件	木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件	住宅除却工事補助件数	3 件	危険ブロック塀等除却補助件数	51 件
木造住宅耐震診断補助件数	100 件												
大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件												
木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件												
木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件												
住宅除却工事補助件数	3 件												
危険ブロック塀等除却補助件数	51 件												

9 月末の 進捗状況 【〇】

広報ひらかたやイベント等の機会を通じ、本市耐震補助制度の周知を行うなど、住宅・建築物の耐震化の必要性について広く啓発を図りました。加えて、危険ブロック塀の除却促進については、通学路を中心にパトロールを行い、状況に応じ個別に啓発及び補助制度の案内を行いました。